

WebView/Livescope 企画募集 受賞者発表

Live Camera



本誌6月号で行ったキヤノン
WebView/Livescopeの企画募集は
皆さまからの応募メールや葉書が山のように届き、5月末に無事締め切らせていただきました。短い期間にもかかわらずご応募くださった皆さまには厚く御礼申し上げます。ところで、今回はその結果発表。キヤノン株式会社とインターネットマガジン編集部が一案一案検討した結果をここで発表させていただきます。果たしてどの企画が実現するかはこれからのお楽しみ。
結果発表はキヤノンのホームページでも見られるので、WebView/Livescopeのカメラサイトと一緒にチェックしてみよう!

キヤノンWebView/LivescopeのURL <http://www.x-zone.canon.co.jp/WebView/>

御礼! これが企画の全貌だ!

さて、結果発表に行く前に皆さまから寄せられた企画の一部をご紹介します。

1か月の間に編集部へ届いた企画は約100件。いただいた企画のタイプは大きく分けると以下の6つに大別できました。

風光明媚な場所や自然観察用

水族館・動物園ウォッチング用

街中や待ち合わせや混雑する場所のウォッチング用

お子さまウォッチング用

イベント中継

その他(飛行機のcockpitや新幹線の運転席や国会議事堂の中、そしてお家の水草観賞そしてゲーム的なものなど)

ユニークな企画を一挙公開!

ご応募いただいた企画のなかからユニークなものをいくつかご紹介させていただきます。ジンベイザメの頭部にWebView/Livescopeを埋め込み(貼付け?)海の世界を魚の視線で観賞するという、ジンベイザメ研究者にとっては夢のような企画や、気球や飛行船によって空からリアルタイムの映像を発信するというダイナミックな企画もありました。そして、「お家の陸ガメ監視」の企画などは2年前にカメラのお家か

ら出火して、人間のお家が火事になったことから、かわいいカメを守れるようにどこからでも監視していたい...という理由があり、人間とカメラとの強い愛情関係のドラマを感じさせられるものもありました(しかし、なんでカメラさんのお家から出火してしまったのでしょうか?...疑問は残りますが)。

また、親の愛情というか我が子見せたさのも数多く、遠足バスや子供の運動会中継からベビーベッドの赤ちゃん監視などという企画もあり、「みんな仕事でお家に帰れないのかしらん?」と思ってしまうですね。しかしこの企画には審査員もひたすら同情というかわがことのようにうなずくばかり。

グロテスクなものも来ましたよハイ。クモ(蜘蛛おんなの蜘蛛ですネ)の巣観察とか、これもクモ研究者にとってはよだれものの企画かもしれませんが残念なことに審査員の中にはクモ好きはいませんでした。

実用的なアイデアもいただきました、例えば高速道路の渋滞観測やディズニーランドの駐車場、新宿ALTA前、渋谷ハチ公前、幕張メッセ会場などといった企画は「あったら便利」とうなずけますネ。

インターネットの普及でクリック1つで離れた場所のように動画を見られるようになってしまったので、すから、スゴイもんです。

6・27 決戦は金曜日!

さてさて、これだけ多くの企画から数名に受賞者を絞ることは容易ではありません。審査会は審査員の企画への愛情や思惑が加わり案の定かなり大変でした。

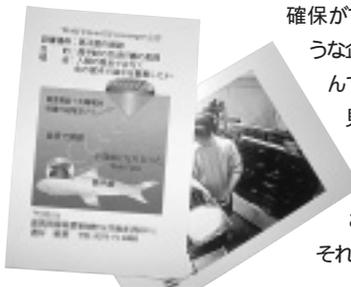
審査会は6月27日(金)真夏ばりの暑い日にインプレスとキヤノンで行われ、審査員はキヤノン株式会社から11名、インプレスから4名の総勢15名で行われました。

審査はポイント制で、審査項目は次の3つ。

- 1) 首振り機能を活かした企画か?
- 2) ユニークな企画か?
- 3) 実現性があるか?

それぞれの項目を5点満点で採点し、審査員の合計点で高いものから賞を決定してゆくという、審査の王道的なスタイルで行いました。

企画の審査の要は3番の実現性があるかというところ。電源の確保はできるのか?とかプライバシー侵害で訴えられないか?ネットワークの確保ができるのか?などがクリアできそうな企画を選ぶのは簡単ではありませんでした。しかし、「ライブカメラは見る人に有益な情報と夢を与えるものでなければいけない!」という信念のもと審査員もおおいに悩み、意見しあいました。それではおませ結果発表です。



イラストや写真付きのはがきでもたくさん応募いただきました。

最優秀賞

賞品はキヤノン PowerShot350 とインプレス特製クロノグラフ時計&ファストネット(株)のダイヤルアップ接続1年間無料サービスです。

大田垣 有美さん

企画 応募 竜串海中公園の「足摺海底館」の水深7mに位置する海中展望室。

審査員評 熱帯魚や珊瑚礁の宝庫である南国高知の足摺岬。水族館ではない本当の海を優雅に泳ぐお魚や海の生物を、WebView/Livescopeの首をブンブン振りまわして、カラフルな熱帯魚にズームできればデスクトップは本当の海の中！気持ちはダイバーになれますね。普段見られない世界が見れてこそライブカメラの意味があります。電源もあるようだし、ホームページもあるので実現可能性も高そうですね。



ここに設置されたらうれしいネ

・・・とスタッフの皆さんのうけが超よかった企画でした。色鮮やかな熱帯魚が見れるようになればうれしいですね。受賞おめでとうございます。



足摺海底館のHP
<http://www.gallery.or.jp/~kaiyou/kankou/kaitei.html>

審査結果発表



優秀賞

賞品はキヤノンのAPSカメラIXY(IX240)とファストネット(株)のダイヤルアップ接続1年間無料サービスです。

北城 恵里子さん

企画 応募 青森県八戸市にある蕪島という日本でも珍しいウミネコの島。

審査員評 北城さんの説明では、ウミネコにはテリトリーがあり、シングルマザーで子育てをするウミネコがいたり、いじめや、仲間との友情があるそうです。また、ここは景色が良いただけではなく、約4万羽ものウミネコが住む興味深い場所だそうです。ウミネコの人生の縮図が観察できるのも面白いし、写真のとおりならば、首振り機能を活かして飛んでるウミネコを追いかけてみるのも面白そうですね。残念なのが設置場所が屋外ということですね。まだ防水用のハウジングはないんです。



浦上尚志さん

企画 応募 全国各地の待ち合わせ場所(新宿アルタや渋谷ハチ公付近や、東京駅、六本木交差点)。

審査員評 これは本当に実用的な企画案。意外とこの手が少なかったのですが、インターネットで待ち合わせ場所を指定することもできるし、待ち合わせに遅れた時に相手が来てるかのチェックもできます。人間ウォッチングも楽しめるところが審査員にうけました。いまWebView/Livescopeのページにはニューヨークのタイムズスクウェアやロックフェラーセンターがリンクされているのですが、これらに対抗できるのはやはり東京の新宿、渋谷、六本木ですよね。昼だけじゃなくて夜も楽しめたりして。



アイデア賞

以下はアイデア賞を受賞した方々です。楽しい企画をありがとうございました。賞品はキヤノン特製レンズクロックとファストネット(株)のダイヤルアップ接続1年間無料サービスです。

魚木 正さん

企画 応募 衆参両議院本会議場

大久保 信吾さん

企画 応募 渋谷FMスタジオおよびサテライトスタジオ内

玉城 公一さん

企画 応募 神戸の「光の祭典ルミナリエ会場」

今泉 徹さん

企画 応募 大型船を建造している造船所内

木村 俊平さん

企画 応募 横浜中華街大通り老維新號の2階

皆さまご応募本当にありがとうございました。最優秀賞に入賞した企画を実現すべくスタッフが最善の努力をしてゆきます、さてさてうまく実現できるのでしょうか！WebView/Livescopeのホームページを今後もお楽しみに。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp